

BM-501 ビーエム 501

ミスヒットに強い。だから安心して使いきれ！

【安心感】

●アドレスでのシャープさも考慮したショートグース、セミラージヘッドは、ショットのイメージが湧いてくる形状。バックフェース部分に装着したタングステンニッケル合金によりロング・ミドルアイアンでは慣性モーメントの大きさがミスを最小限に抑えてくれます。

【コントロール性】

●ショートアイアンでは、ディーブアンダーカットキャビティー構造を採用し最適重心位置に設定。クラブの操作性とボールのコントロール性能が向上しています。

【しっかりした打感】

●手ごたえある打感を支えるのは、軟鉄に近いとされるMS-225ステンレス。フェース厚もバックフェースを均一な厚さにしてしっかりした手ごたえをバックアップ。MS-225ステンレスは、ロフト・ライ角の調整も可能にしています。



	#4	#5	#6	#7	#8	#9	PW
ロフト角(deg)	23.0°	26.0°	29.0°	32.0°	36.0°	40.0°	45.0°
ライ角(deg)	60.0°	60.5°	61.0°	61.5°	62.0°	62.5°	63.0°
重量(gr)	247	254	261	268	275	288	291

Head : made in china, Shaft : made in japan, Assembled in japan

■ビーエム 501 [K's-4001, K's-5001, K's-6001装着] 価格: 1本¥18,900(税込) #4~7 フェース側-MS-225ステンレス/バックフェース側-タングステンニッケル合金。#8~P MS-225ステンレス ※価格はメーカー希望小売価格です。

CP Wedge 3 シービー ウェッジ スリー

アイアンの流れを踏襲した安心感！

ロングアイアンからショートアイアンへの大きさの流れの中で違和感無く構えられるような大きさに設定。CP WEDGE IIに比べてフェース上部に重量を持たせることで、インパクト時のフェースのブレが少なくスピン性能にも優れています。また、オーバルタイプの形状は、球を包み込むイメージが持てて安心感抜群。もちろんフェースには鏡面ミリング処理を採用、スピン性能の向上を高めています。

	AW	SW
ロフト角(deg)	51.0°	56.0°
ライ角(deg)	63.5°	64.0°
重量(gr)	297	302
FP(mm)	5.0	5.7
パンス角(deg)	6.0°	10.0°



Head : made in china, Shaft : made in japan, Assembled in japan

■シービー ウェッジ 3 [K's-4001, K's-5001, K's-6001装着] 価格: 1本¥18,900(税込) ボディー/MS-225ステンレス ※価格はメーカー希望小売価格です。

FCTW Tour Wedge エフシーティーダブル ツアー ウェッジ

自信の持てるツアーウェッジ！

ツアープロからのフィードバックを基に作られた懐の深いオーバルタイプ(丸型)ウェッジ。その包み込むような形状は、捕まり感が湧いてショートレンジでも生きた球でアプローチできます。出歯の形状、ティアドロップ形状のウェッジは、“構えづらくラインに対してイメージが出しにくい！”というゴルファーにぜひお奨め。フェース面には鏡面ミリング処理を施しスピン性能を向上させています。

	AW	SW
ロフト角(deg)	52.0°	58.0°
ライ角(deg)	63.5°	64.0°
重量(gr)	297	302
FP(mm)	4.3	5.3
パンス角(deg)	8.0°	12.0°



Head : made in china, Shaft : made in japan, Assembled in japan

■エフシーティーダブル ツアー ウェッジ [K's-4001, K's-5001, K's-6001装着] 価格: 1本¥18,900(税込) ボディー/軟鉄8620 ※価格はメーカー希望小売価格です。

ウッド・アイアンクラブの基礎講座

BASIC LESSON for WOOD&IRON

最適なクラブ選びの一助となるよう、クラブの基本用語をご紹介させていただきます。

WOOD ウッドクラブ各部の主な名称と測定方法

■ロフト角(リアルロフト)

ライ角を合わせてシャフトを地面に対して垂直に固定し、フェース角が0度になるようにセット。シャフトの軸線に対するフェースの上向き角度を測ります。

■フェース角

アドレス時、目標に対するフェース面の向きを表す角度。ライ角を合わせ、シャフトを地面に対して垂直に固定し、ソール面を地面に接地させて測定します。0度ならスクエアフェース、-ならスライスフェース、+ならフックフェース。

■GH-1

フェース面上の重心位置からリーディングエッジまでの距離。

■GH-2

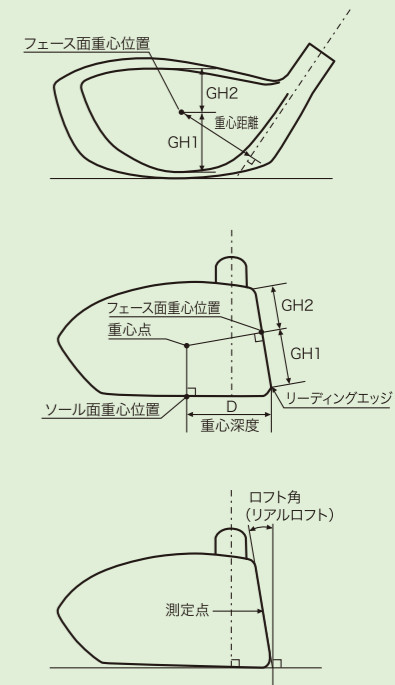
フェース面上の重心位置からフェース上端までの長さ有効打点距離。GH-2が長いと打ち出されたボールのスピン量は少なくなり、短いとボールのスピン量は多くなる。一般的には、飛距離を求めるならGH-2が長めの低重心モデル、安定性を求めるならGH-2が短めで重心高めのモデルがよいとされます。

■重心距離

ヘッドの重心からシャフトの中心線までの垂線距離。長いほどインパクト時のスピードはアップしますが、シャフト軸を中心とした慣性モーメントが大きくなるため、ヘッドは返りにくくなります。

■重心深度

リーディングエッジからヘッド重心までの長さ。一般的には深いほどスイートエリアが広がります。またインパクトロフトが多くなり、打ち出し角も高くなります。



IRON アイアンクラブ各部の主な名称と測定方法

■重心高さ

クラブヘッドの重心の位置。アイアンは重心が低いほどボールが上がりやすく、スピンがかかりやすくなります。逆に重心が高いほど打ち出し高さは低くなり、スピンがかかりにくくなります。

■重心距離

ヘッドの重心からシャフトの中心線までの垂線距離。短いものはフェースが返りやすく、操作性に富みます。長いものはリストワークが使いづらいですが、スイング軌道は安定しやすく、スピン量が増えるためボールは上がりやすく、かつ止まりやすくなります。

■重心アングル

シャフト中心線の延長と、ヘッド重心との間にできる角度。数値が大きいほどインパクトでフェースが返りやすいため、ボールを捕まえやすくなります。

■重心深度

フェース面からヘッド重心までの長さ。一般的には深いほどスイートエリアが広がります。またヘッドの縦方向の慣性モーメントが大きくなるため、インパクトロフトが安定し、ボールが上がりやすくなります。

■フェースプログレッション

フェース角を0度にした時のシャフト中心線の延長線とリーディングエッジまでの水平距離。数値が小さいほどボールが捕まりやすく、大きいほどボールが上がりやすくなります。

